

総 説

リロケーションの概念分析

Concept Analysis of Relocation

渡 邊 美 保 (Miho Watanabe)* 野 嶋 佐由美 (Sayumi Nojima)*

要 約

目的:本研究では、リロケーションの概念分析を検討し、看護におけるリロケーションの活用の有用性を検討することである。

方法:Walker & Avantの手法を用いて概念分析を行った。概念分析は、医学中央雑誌、CINAHL、MEDLINE、ProQuestを用い、73件の文献を対象とした。

結果:リロケーションの概念は、6つの属性、3つの先行要件、4つの帰結が抽出された。先行要件は、【個人特性】、【やむを得ない理由】、【意向】が抽出された。属性は、【生活・空間の変化】、【対人的環境の変化】、【自己の変化】、【混乱】、【対処】、【立て直し】が抽出された。帰結は、【再適応】、【成長】、【喪失】、【苦闘】が抽出された。

結論:本概念は「リロケーションとは生活・空間の変化、対人的環境の変化、自己の変化を伴うものであり、混乱に遭遇しつつ、安定した生活を獲得するために対処や立て直しを行うことである」と定義された。

Abstract

Aims: This research considering concept analysis of relocation and examining its usefulness in the field of nursing.

Method: In this study, Walker & Avant method of concept analysis was used. Concept analysis targeted literature of 73 and retrieved from several databases including Igaku Chuo Zasshi, CINAHL, MEDLINE, and ProQuest.

Results: Regarding the concept of relocation, six attributes, three antecedents and four consequences were extracted. Antecedents of relocation were also extracted: individual characteristic, unavoidable reason, and the intention. Attributes of relocation were extracted: change of a life and space, change of interpersonal environment, a self change, confusion, cope, and reorganize. Consequences of relocation were extracted: re-adaptation, growth, loss, and struggle.

Conclusion: This concept was defined as "Relocation is accompanied by change of a life and space, change in interpersonal environment, and self change, encountering confusion. And relocation is performing cope and reorganize, in order to gain the stable life."

キーワード: リロケーション 概念分析

I. はじめに

リロケーションは主要な生活移行であり、年齢にかかわらず、肯定的もしくは否定的な結果の両方に導くものである¹⁹⁾。欧米で1960年代から発展し、1970年代には健康状態の変化やそれに伴う混乱⁶⁸⁾、死亡率との関連¹⁷⁾が報告されてきた。さらに1980年代になると、リロケーシ

ンによる否定的な影響要因をいかに和らげるかということが課題となった⁹⁾。それを反映するかのよう看護診断のなかにも移転ストレスシンドローム (Relocation Stress (Syndrome)) について明記されている³⁸⁾。我が国においても、高齢化を背景に1980年代からリロケーションへの関心が高まり、社会学、心理学では、施設入所時の年齢と死亡率の関連³⁷⁾、適応との関連⁶⁴⁾

*高知県立大学看護学部

について取り扱われてきた。これらの論文のなかでリロケーションは心身に影響を及ぼし、ストレスを伴うものとして使用されている。

リロケーションに関連する概念として、移行がある。Meleis⁴¹⁾は個々の健康と病気の変化は移行プロセスをつくり、病気経験がクライアントを傷つきやすくする恐れがあると述べている。さらに、移行は健康に限らず、発達、妊娠、出産、思春期、老化、寿命移行、移住、引退、家族介護といった社会・文化を含み、看護師は患者の変化と相違に対処し、快適さを考慮する必要があると述べている⁴¹⁾。このことから、断片的な変化というより、その人自身の生活背景や家族状況などを把握し、長いプロセスのなかで個人、家族、地域社会に及ぼす変化を多面的に捉えていくことが求められる。

我が国の高齢化率の上昇、在院日数の短縮化、家族の介護負担など医療を取り巻く背景から、リロケーションは今後ますます増加することが予測される。しかしながら、国内でリロケーションを取り上げた研究は少なく、リロケーションの構成概念は明確にされているとはいえない。また、リロケーションの概念を定義している論文は少なく、概念が曖昧なまま用いられていることが多い。したがって、リロケーションの概念を明確にすることは、看護のなかで生じている現象を理解することにつながり、リロケーションに対する看護ケアの一助となることが期待される。以上のことから、本研究では、リロケーションの概念分析を行い、看護におけるリロケーションの活用について示唆を得ることを目的とした。

II. 概念分析の方法

1. データ収集方法

国内文献は、医学中央雑誌Ver. 5 (1982～2014年)を用いて、「リロケーション」のキーワードを用いて検索したところ、28文献が抽出された。そのなかで、リロケーションを明確に定義した文献4件を用いた。

海外文献は、文献データベースCINAHLと

MEDLINEを用いて発行期間は特定せずに、「relocation & nursing」「relocation & theory」をキーワードに検索を行った。「relocation & nursing」とEnglishで検索した結果、651件であった。国内で入手が困難な文献、災害や戦争など特殊な状況に焦点を合わせた文献は除外した。そのなかから、リロケーションについて記載されてある文献60件を分析の対象とした。また、ProQuestを用いて、リロケーションを明確に定義した社会科学の文献6件を用いた。また、リロケーションに関する書籍3件を用いた。

2. データ分析方法

概念分析は、概念間の類似と相違を区別し、曖昧な概念を再定義する際に有効なWalker & Avantの概念分析の手法を用いた⁷²⁾。具体的な手順は、①選択した概念について発見したすべての用法を明らかにする、②属性を明らかにする、③モデル例を明らかにする、④先行要件と帰結を明らかにするという流れである。

III. リロケーションの影響要因・先行要件・属性・帰結

辞書による一般的なリロケーションの意味は、「(特に会社や労働者が)引っ越しや仕事もしくは働くために新しい場所に移動すること」⁵⁵⁾という意味がある。さらに、場所・居住の移転以外にもリロケーションは物事のうつり、権利や財産が一方から他方へうつること、またうつすことの意味を含んでいる⁶⁶⁾。

社会科学の分野では、リロケーションは「否定的な側面、つまりいくつかの消えゆく関係をもつ」⁶⁷⁾、「社会の関係、産業そして家族に望ましい共同体安定性と結合を混乱させる」²⁸⁾と述べられている。このことから、場に関連する社会的日課や歴史、家族といったコミュニティを内包したものとして用いられている。

移民研究のなかで人の移動は、あくまで一時的で例外的な出来事として捉えられており、移動そのものが正常からの逸脱とみなされていた。しかしながら、今日のグローバリゼーションは固定された場を融解し、意識的か無意識かを問

わず、否応なく移動し続ける時代となっている²³⁾。人の移動はさまざまな要因、そしてそれらが複合して移動としてあらわれ、目的、生活拠点、家族とのかかわりなどから、移民、移動、移住といった言葉が使い分けられている²³⁾。このことから、目的や状況に応じて、場所の範囲や頻度は拡大し、意味も異なってくるといえる。

哲学において、場所とは全体運動であり、時間・空間的断面とみることできるし、歴史の切断面ともみることができ、1つの意味に限定せず、空間と場所を自己同一する特殊な場であると述べられている⁶³⁾。したがって、場所とは静止したものではなく、動きを伴うものであるといえる。

1. リロケーションの属性

リロケーションの属性として、「生活・空間の変化」「対人的環境の変化」「自己の変化」「混乱」「対処」「立て直し」の6つが抽出された。

1) 生活・空間の変化

生活・空間の変化は、生活イベントに伴う居住場所の変化のことである。この要素には、＜居住場所の移動＞＜ライフイベント＞が含まれている。＜居住場所の移動＞は、居住の場所を施設に移すことに加えて伴う動き³²⁾、2連続時間ポイントの間の居住場所の変化⁷⁾、1つの永住地からもう1つの永住地に動いていることを示している¹⁹⁾。これらは、ただ単に居住場所の移動にとどまらず、生活を巻き込むものである。＜ライフイベント＞は、就職、病気など主要な生活の出来事⁶⁾³⁵⁾⁴⁴⁾⁵⁸⁾⁷⁰⁾を含んでいる。

2) 対人的環境の変化

対人的環境の変化とは、人間関係や環境、所属感を巻き込む変化であり、相互作用をもたらすものである。この要素は＜周囲への波及＞＜所属感の変化＞が含まれている。＜周囲への波及＞には、個人とその家族の人間関係など周囲を巻き込むことが示されている⁵⁾²⁴⁾。さらに、＜所属感の変化＞には、周囲との関係性で生じ

る結束の分裂につながることを示されている²⁸⁾。

3) 自己の変化

自己の変化とは、家との分離、健康状態によって生じるアイデンティティや役割の変化のことである。この要素には＜アイデンティティの変化＞＜役割の変化＞が含まれている。＜アイデンティティの変化＞には、個人的・社会的なアイデンティティの感覚の変化²⁾、抑うつ、不安、価値、健康面に関する自己感覚の低下が示されている¹⁾⁴⁴⁾。＜役割の変化＞には、職場での役割や従属関係といった新しい従属関係・労働条件²⁸⁾⁶⁷⁾、家族役割の変化⁶⁹⁾が示されている。

4) 混乱

混乱とは、変化に伴って生じるストレスのことである。この要素には＜ストレス＞が含まれている。＜ストレス＞には、精神的衝撃、孤独、憂うつ、怒り、懸念と不安など多様なストレスを伴う³⁾¹⁰⁾¹²⁾¹³⁾¹⁸⁾²⁵⁾³¹⁾³³⁾³⁸⁾⁴⁵⁾⁶¹⁾⁷⁰⁾⁷³⁾。具体的に、Davidら¹³⁾は病気や死との関連づけられた危険性と述べている。さらに＜ストレス＞は生活の質と量の両方に変化を及ぼし、しばしば精神的衝撃を含むイベントであると述べられている³⁴⁾⁴³⁾。

5) 対処

対処とは新しい人間関係や生活習慣、家族との分離など多様な変化に対し、人生経験をもとに解決策を見出すことである。この要素には＜肯定的方向への努力＞が含まれている。＜肯定的方向への努力＞には、短所を和らげる家族の努力⁷⁴⁾、生活移行への対処²⁾といった元々その人が持っている資源や能力を生かした内容が含まれている。具体的には、人々がこれまで生活のなかで培ってきた生活移行の経験をもとに行う対処パターンであり²⁾、Weineら⁷⁴⁾は、家族が家族内や地域の保護資源を高め、再定住の状況のなか短所を和らげるために努力することと述べている。

6) 立て直し

立て直しとは、資源やネットワークを用いて、

生活の安定に向けて軌道修正を行うことである。この要素には<調整><再構築>が含まれている。<調整>には、リロケーションを行う意思決定プロセスからリロケーションを行った後にまで及ぶ²⁾²⁴⁾⁴⁹⁾。<調整>には未来への日常生活を目指したネットワークの確立、活動、新しい友人をつくるなど生活を安定させるための日ごとの調整が含まれている³⁵⁾。<再構築>には、人々が心理的、経済的、対人的資源を用いて生活を再編成することが示されている³⁾。

2. リロケーションの先行要件

リロケーションの先行要件として、「個人特性」「やむを得ない理由」「意向」の3つが抽出された。

1) 個人特性

個人特性には、すぐれない健康状態³²⁾⁴⁸⁾⁵³⁾⁵⁶⁾⁶²⁾、身体機能の喪失²⁹⁾⁵¹⁾⁷⁵⁾、認知機能の低下³⁴⁾⁵¹⁾⁵⁴⁾が導き出された。

2) やむを得ない理由

やむを得ない理由には、立ち退き⁶⁴⁾、改築³⁰⁾³⁵⁾⁴⁶⁾、制度²⁶⁾²⁸⁾³²⁾³⁶⁾⁷⁴⁾、経済状況³⁴⁾⁴⁸⁾⁵⁶⁾が導き出された。

3) 意向

意向には、医療者・家族の勧め⁵¹⁾⁷⁵⁾、自発的な移動²⁹⁾⁶⁴⁾、よりよい環境の追求⁵⁶⁾⁶⁹⁾⁷⁴⁾が導き出された。

3. リロケーションの影響要因

リロケーションの影響要因には、サポートシステム、価値観の2つが抽出された。

1) サポートシステム

サポートシステムには、家族関係⁵⁴⁾⁵⁶⁾⁷⁵⁾、介護力²⁹⁾³¹⁾³⁵⁾³⁶⁾⁴⁸⁾⁶²⁾⁷⁵⁾が導き出された。

2) 価値観

価値観には、家族の文化的価値観²⁹⁾³⁵⁾⁷⁵⁾が導き出された。

4. リロケーションの帰結

リロケーションの帰結は、「再適応」「成長」「喪失」「苦闘」の4つが抽出された。

1) 再適応

再適応には生活環境への満足感¹¹⁾⁵⁷⁾、人々や地域社会からの新しいサポートネットワークの獲得⁶⁹⁾⁷⁴⁾が含まれており、段階を通して発展し⁴⁹⁾、新しい生活に順応すること⁶⁾が示されていた。ケアの行き届いた場所へのリロケーションは慢性疾患や機能低下の改善といった身体状況の改善³¹⁾、安堵感と安全¹⁵⁾²²⁾³⁵⁾の獲得につながっていた。

2) 成長

成長には、家族機能の拡大と自己コントロールの獲得が含まれていた。家族機能の拡大には、配偶者の継続的な関わりによる新しい自由と可能性³⁶⁾、家族の絆や新しい愛情の発見³⁵⁾、家族の文化の創造²⁸⁾がみられた。また、長期ケアの日課の理解³¹⁾、生活状況の現実に身を任せ流れに付随すること²⁾⁴⁹⁾、動きを現実の代替物として認知する³⁵⁾⁵³⁾⁶¹⁾ことで出来事の認知を転換させるといった自己コントロールの獲得が生じていた。

3) 喪失

喪失には、日課に関連した喪失が含まれていた²⁾⁵⁰⁾⁶⁷⁾。また、時間や日常生活の有意義な活動に参加する能力の制限といった自由の喪失も生じていた²⁾²⁸⁾³⁵⁾。さらに、プライバシーに関連した個人空間の喪失¹⁶⁾³⁵⁾、死亡率の増加⁵⁾、身体的変化²²⁾²⁹⁾³¹⁾³²⁾⁶⁸⁾、認知力の低下²⁾³³⁾³⁵⁾⁵⁴⁾がみられた。心理的喪失には、移転ストレス症候群¹²⁾¹⁶⁾²⁰⁾²⁸⁾³⁰⁾³¹⁾³⁵⁾³⁹⁾⁴⁸⁾⁷⁰⁾、先行きの見えない不確かさ²⁾³⁰⁾⁴⁹⁾が含まれていた。

4) 苦闘

苦闘には、抵抗²⁾³⁵⁾⁷¹⁾、スタッフと家族、ルームメイトの論争³¹⁾³²⁾³⁵⁾⁵⁸⁾、役割対立²⁸⁾といったニーズの衝突がみられた。さらに、社会的孤立や孤独、仕事の機会などの減少²⁸⁾といった生活存続への危惧や罪悪感と安心という相反する感情的な反応²⁾³¹⁾³⁶⁾⁵²⁾⁶²⁾が生じていた。

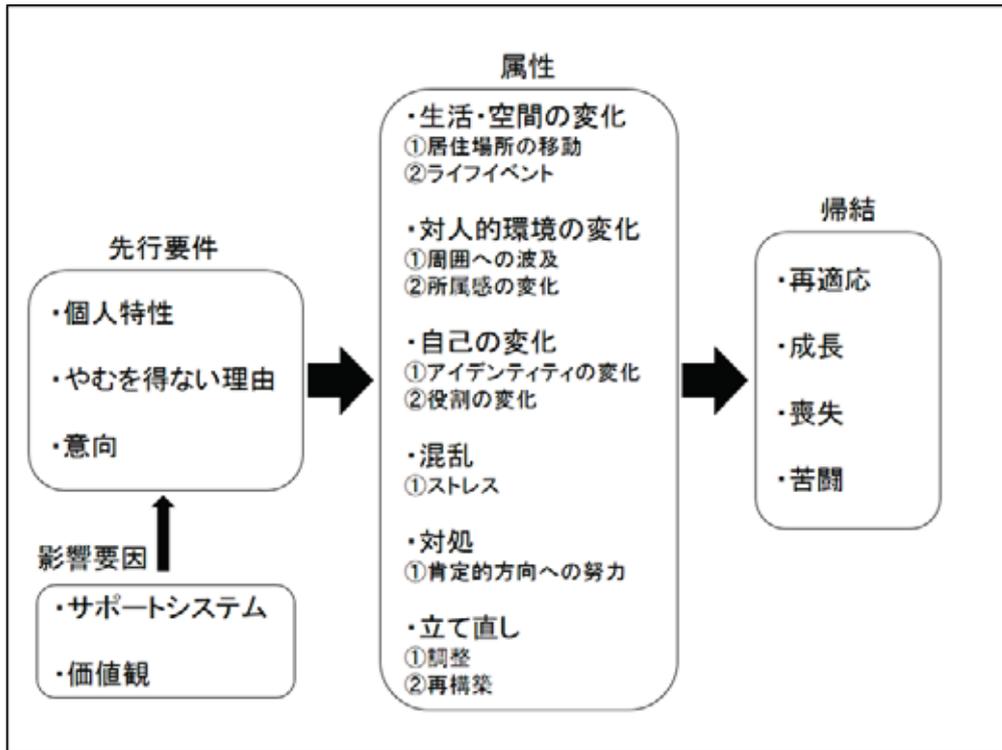


図1 リロケーション概念の先行要件・属性・帰結

IV. 関連概念

リロケーションの関連概念として、「移行(トランジション)」があげられる。移行には、発達上のもの、状況的なもの、健康-病気、組織的なものといった4つの主要な移行がある⁴²⁾。発達のなものとしては、親になる移行、老化の移行、閉経期の移行などが含まれており、移行は幅広い現象を取り扱うという特徴がある。リロケーションは居住場所の変化とそれに伴う多様な変化であり、移行に比べて、取扱う現象の範囲が絞られている。Meleis⁴²⁾は移行について、一般的に1つの安定した状態からもう1つのかなり安定した状態への経過であり、それが変化によって引き起こされたプロセスであると定義し、ダイナミックな段階、プロセス、人-環境の相互作用、1人以上の人を巻き込む特性があると述べている。リロケーションも個人や家族、地域社会との関係など波及する変化を伴うものであるため、移行に含まれるダイナミックな特性と共通点がみられる。また、人-環境の相互作用の結果に影響を及ぼすことも共通している。さらに、移行の特性には、異なった現実の相違

に直面することが述べられている⁴¹⁾。リロケーションにもストレスを伴う混乱が含まれており、移行との共通点がみられる。

健康な移行のプロセスには、意味を再定義すること、期待を修正すること、生活の日課の再構築、新しい知識と技能の発展、新しい選択の探究、個人の成長の機会を見いだすことが含まれている⁶⁵⁾。リロケーションにも、対処や立て直しが属性に含まれており、再適応や成長が帰結として見出されていた。このことから、移行との共通点がみられる。しかしながら、移行が本質的に肯定的である⁴²⁾という特徴を示すのに対し、リロケーションは必ずしも肯定的な特徴を示すものではなく、肯定的な側面と否定的な側面の両方を含むため、移行とは異なる。

V. リロケーションの定義と概念の有効性

1. リロケーションの定義

図1はリロケーションの先行要件、属性、帰結の関係を示したものである。概念分析の結果、リロケーションとは、生活・空間の変化、対人的環境の変化、自己の変化を伴うものであり、

混乱に遭遇しつつ、安定した生活を獲得するために対処や立て直しを行うことであると定義づけることができる。

2. 看護におけるリロケーションの活用について

概念分析の結果から、リロケーションは入院、転院などの看護場面に活用できる。以下に、6つの属性をもとに、看護におけるリロケーションの介入方法と発展性について検討する。

「生活・空間の変化」は、家から病院、施設から施設、施設から在宅などリロケーションのパターンは異なるものの、日々、看護の現場で生じているものである。そのため、日常的な変化として捉えられ、それらの変化が個人に与える影響を把握する機会を減じてしまう恐れがある。「生活・空間の変化」は、所有物の喪失にもつながり、これらは不安感とコントロールの喪失の感情を引き起こし、個人のアイデンティティの感覚に影響を及ぼすと言われている⁴⁰⁾。また、親しみのあるものを変えることの抵抗は個人の価値観にも影響を与える⁴⁹⁾。特に家は個人が最も多くの愛着を感じる場所であり、帰属意識やルーツを含んでいる⁴⁰⁾。したがって、「生活・空間の変化」は、「自己の変化」や「混乱」に関連するものであり、その結果、喪失をもたらす恐れがある。このことから、入院前後の生活環境の落差を予防するために、個人の好みに合わせたベッドや床頭台の配置など個人のニーズに応じた柔軟な対応を行うことが求められる。「対人的環境の変化」は周囲を巻き込む動きであり、個人、家族にとって大きなエネルギーを費やすものであるといえる。そのため、個人だけでなく家族も含めたケアを視野に入れて関わっていくことが必要である。

「自己の変化」は、内面的なものであり、意図して関わらなければケアのなかで見落としやすい部分である。看護師は対象者がリロケーションに伴う変化をどのように受け止めているのか把握し、前向きに気持ちを転換できるよう支援することが重要と考える。

「混乱」にはストレスが含まれていた。精神的衝撃は死別に例えられ、1つの部屋から1つの部屋に動くことも新しい家に引っ越すことと同じくらい精神的衝撃があると述べられてい

る⁴⁸⁾。入院や入所にはその人なりの生活習慣や持ち物を持ち込むことは難しいことも多く、新たな生活の規制を強いられ、混乱を増強させることが考えられる。環境は健康あるいは病気を支援する⁵⁸⁾といわれるように、できる限り選択肢を整え、交流を深めることができるよう環境を整えることが必要となる。

「対処」には、肯定的方向への努力が含まれていた。Aminzadehら²⁾は将来の不確かさの克服として、その日1日だけのことに集中して生活すること、感謝や肯定的な展望の感覚を維持するよう試みることと述べている。また、ストレスを最小限に保とうとするコーピング行動と類似したメカニズムは、正常な順応のための反応であると言われている⁷⁰⁾。人々の内部のコーピングスキルと成長のための能力を促進することは、有害なストレスを埋め合わせ、肯定的な力を引き起こすことから²¹⁾、個人や家族が対処できるように必要な知識や技術を伝えていく必要がある。

「立て直し」には日々の変化に対する調整や再構築が含まれていた。これらの調整は短期間、長期間に渡る非常に複雑なプロセスである⁴⁹⁾。したがって、その人のペースや価値観を尊重し、持てる力を引き出すことができる関わりが重要である。

リロケーションの研究の多くは、施設から施設へのリロケーションの場面や主に高齢者もしくはその家族に焦点をあてたものが多かった。今日のグローバル化の動きや診療報酬の改正、介護保険の改正といった社会制度の変遷からも、リロケーションは今後ますます拡大していくことが予測される。このことから、リロケーションを日常的なものとして認識するのではなく、ケアの介入の質によって対象者の健康を左右するものであることを改めて問い直す姿勢が求められている。

3. モデルケース

リロケーションの概念分析より、概念の有効性を検討するためにモデルケースを示す。

A氏は、75歳の男性である。ある日、呂律が回らなくなり、左半身の脱力がみられ、急性期病院に搬送された。アテローム血管性脳梗塞と

診断され、左片麻痺、歩行障害、筋力低下、尿失禁の症状がみられた。入院して2週間後、リハビリ目的で近隣の病院に転院となった。A氏は50代の頃にタバコをやめ、妻と一緒に散歩したり、TVで放送されている健康体操を行ったりと健康には人一倍気をつけていた。そのため、転院後、A氏はなぜ自分がこんな病気になったのだろうと、臥床して過ごすことが多かった。また、思い通りに動かない自分の体に対して、退院しても妻や息子の重荷になるのではないかと将来の生活に不安を抱くようになった。そのような状態であったため、スタッフはA氏の気持ちを傾聴し、できるところを見定めて、車椅子の移乗などを促したが、A氏は自ら進んで行おうとしなかった。妻は、夫の様子をみて、本当に元気になるのでしょうか、これからどうしたらいいのでしょうかと涙を浮かべ看護師に相談することもあった。そのようななか、A氏の孫が面会に訪れ、元気になったら一緒に旅行に行こうとA氏を励ました。また、妻も、天候が悪い日以外は毎日面会に訪れた。A氏は自分を支えてくれる家族やスタッフの存在に喜びを感じ、少しずつリハビリに参加するようになった。また、家族と離れて生活する寂しさを紛らわすために、家でよく聞いていたラジオを持ってきてもらい、リハビリの合間にラジオを楽しむようになった。その結果、日中も笑顔がみられるようになり、同じ病棟の患者やスタッフと交流をもつようになった。2か月後のケア担当者会議でA氏は、「1階に寝室を移動し、週に3回は介護サービスを利用したい」といった退院後の生活を見据えた発言がみられた。

この事例では、リロケーションの6つの属性が含まれている。A氏は家から病院、病院から病院への転院といった「生活・空間の変化」がみられていた。さらに、健康に気遣っていたのになぜこのような病気になったのだろうか、「自己の変化」が生じていた。このような自己の変化は将来の不安にもつながり、自由に動かない体では家族の重荷になるのではないかと、といった「混乱」が生じていた。A氏の思いは妻にも波及し、これからどうしたらいいのだろうかという「対人的環境の変化」が生じていた。しかし、妻の頻回な面会やスタッフとの関わり

から、A氏は少しずつリハビリに取り組むようになり、ラジオを聞いたり、入院前の健康体操を行うといった入院前の生活経験を生かした「対処」がみられた。また、介護サービスの検討といった「立て直し」を行っていた。

VI. おわりに

人は長いライフサイクルのなかで何度もリロケーションを経験している。しかし、リロケーションの状況や準備、新しい環境の状況によって、その後の生活に大きなダメージを及ぼすこともある。グローバル化に伴い、人の移動が活発になっているなかで家や家族、文化は個人にとって重要な意味をもち、単に場所の移動や一時的な出来事として捉えることはできない。入退院や転院は日常的に行われているものであるが、リロケーションに伴う変化や混乱が個人の健康状態や人間関係、その後の生活にどのような影響を及ぼすかモニタリングし、必要な支援を検討していくことが必要である。看護のゴールは、健全な移行プロセスを促進し、健康に良くない移行を減少させること、そして肯定的プロセス指標を支持することであり⁶⁵⁾、Jones & Meleis²⁷⁾は流動的資源が健康に良い移行のためのエネルギーを促進する不可欠な部分であると示している。このことから、個人に限らず、家族を含めて生活の立て直しを支援していくことが重要である。また、個人や家族だけでは限界がある部分やサポートが必要な場合には、多様な資源を追加することも視野に入れ、個人や家族が新しい環境に再適応し、成長できるように調整していくことが求められる。リロケーションとは、生活・空間の変化、対人的環境の変化、自己の変化を伴うものであり、混乱に遭遇しつつ、安定した生活を獲得するために対処や立て直しを行うことであると定義づけることができる。

<文献>

- 1) Abir K.B, Jaclene A.Z, Wagdy E.N: Psychometric Properties of the Pressure to Move Scale in Relocated American Older Adults: Further Evaluation, Issues in

- Mental Health Nursing, 32, 711-716, 2011.
- 2) Aminzadeh F, Dalziel WB, Molnar FJ., et al.: Symbolic meaning of relocation to a residential care facility for persons with dementia, *Aging & Mental Health*, 13(3), 487-496, 2009.
 - 3) 安藤孝敏：地域老人における転居の影響に関する研究の動向－転居後の健康と心理社会的適応を中心に－、*老年社会科学*、16(1)、59-65、1994.
 - 4) Armer JM : Elderly relocation to a congregate setting: factors influencing adjustment, *Issues in Mental Health Nursing*, 14(2), 157-172, 1993.
 - 5) Beirne NF, Patterson MN, Galie M., et al.: Effects of a fast-track closing on a nursing facility population, *Health & Social Work* 20.2, 116-123, 1995.
 - 6) Bekhet AK, Zauszniewski JA: Theoretical substruction illustrated by the theory of learned resourcefulness, *Research & Theory for Nursing Practice*, 22(3), 205-214, 2008.
 - 7) Boockvar KS, Litke A, Penrod JD., et al.: Patient relocation in the 6 months after hip fracture: risk factors for fragmented care, *Journal of the American Geriatrics Society*, 52(11), 1826-1831, 2004.
 - 8) Brand FN, Smith RT : Life Adjustment and Relocation of the Elderly, *The Journal of Gerontology*, 29(3), 336-340, 1974.
 - 9) Burnette K: Relocation and the elderly: changing perspectives, *Journal of Gerontological Nursing*, 12(10), 6-11, 1986.
 - 10) Capezuti E, Boltz M, Renz S., et al. : Nursing home involuntary relocation: clinical outcomes and perceptions of residents and families, *Journal of The American Medical Directors Association*, 7(8), 486-492, 2006.
 - 11) Cleary M, Hunt G, Walter G: A comparison of patient and staff satisfaction with services after relocating to a new purpose-built mental health facility, *Australas Psychiatry*, 17(3), 212-217, 2009.
 - 12) Damon LE : Effects of relocation on the elderly, *American Family Physician*, 26(5), 144-148, 1982.
 - 13) David J, Peter J, Cornelius K., et al.: Enforced relocation of older people when Care Homes close: a question of life and death?, *Age & Ageing*, 40(5), 534-537, 2011.
 - 14) Dickinson D: Can elderly residents with memory problems be prepared for relocation?, *Journal of Clinical Nursing*, 5(2), 99-104, 1996.
 - 15) Edit F, Tarja-Brita R.W, Kristina H., et al.: Moving to and Living in a Retirement Home : Focusing on Elderly People's Sense of Safety and Security, *Journal of Housing For the Elderly*, 20(3), 45-60, 2006.
 - 16) Fraher A, Coffey A: Older people's experiences of relocation to long-term care, *Nursing Older People*, 23(10), 23-27, 2011.
 - 17) Gutman GM, Herbert CP: Mortality rates among relocated extended-care patients, *Journal of Gerontology*, 31(3), 352-357, 1976.
 - 18) Hertz JE, Koren ME, Rossetti J., et al.: Early identification of relocation risk in older adults with critical illness, *Critical Care Nursing Quarterly*, 31(1), 59-64, 2008.
 - 19) Hertz JE, Rossetti J, Koren ME., et al.: Evidence-based guideline: management of relocation in cognitively intact older adults, *Journal of Gerontological Nursing*, 33(11), 12-18, 2007.
 - 20) Hodgson N, Freedman VA, Granger DA., et al.: Biobehavioral correlates of relocation in the frail elderly: salivary cortisol, affect, and cognitive function, *Journal of the American Geriatrics*

- Society, 52(11), 1856-1862, 2004.
- 21) Holzapfel SK, Schoch CP, Dodman JB., et al.: Responses of nursing home residents to intrainstitutional relocation, *Geriatric Nursing*, 13(4), 192-195, 1992.
 - 22) Hutchings D, Wells J.J.L, O'Brien K., et al.: From Institution to 'Home': Family Perspectives on a Unique Relocation Process, *Canadian Journal on Aging*, 30(2), 223-232, 2011.
 - 23) 伊豫谷登士翁：移動から場所を問う－現代移民研究の課題、有信堂高文社、初版第2刷、東京、3-23、2011.
 - 24) Johnson RA, Hlava C: Translocation of elders: maintaining the spirit. Nurses can build interventions into translocation plans to minimize the negative effects, *Geriatric Nursing*, 15(4), 209-212, 1994.
 - 25) Johnson RA, Tripp-Reimer T: Relocation among ethnic elders. A review-part 2, *J Gerontol Nurs*, 27(6), 22-27, 2001.
 - 26) Jolley D, Jefferys P, Katona C, Lennon S: Enforced relocation of older people when Care Homes close: a question of life and death?, *Age & Ageing*, 40(5): 534-537, 2011.
 - 27) Jones PS, Meleis AI: Health is empowerment, *Advances in Nursing Science*, 15(3), 1-14, 1993.
 - 28) Julaine Allan: Mining's relocation culture, *The International Journal of Sociology and Social Policy*, 31.5/6, 272-286, 2011.
 - 29) Jungers, Christin M: Leaving Home: An Examination of Late-Life Relocation Among Older Adults, *Journal of Counseling and Development*, JCD88.4, 416-423, 2010.
 - 30) Kagan I, Kigli-Shemesh R: Relocation into a new building and its effect on uncertainty and anxiety among psychiatric patients, *Journal of Psychiatric & Mental Health Nursing*, 12(5), 603-606, 2005.
 - 31) Kao HF, Travis SS, Acton GJ: Relocation to a Long-Term Care Facility: Working With Patients and Families Before, During, and After, *Journal of Psychosocial Nursing & Mental Health Services*, 42(3),10-16, 2004.
 - 32) Komatsu M, Hamahata, Magilvy K.J: Coping with the changes in living environment faced by older persons who relocate to a health-care facility in Japan, *Japan Journal of Nursing Science*, 4, 27-38, 2007.
 - 33) Lander SM, Brazill AL, Ladriagan PM: Intrainstitutional relocation: effects on residents' behavior and psychosocial functioning, *Journal of Gerontological Nursing*, 23(4), 35-41, 1997.
 - 34) Laughlin A, Parsons M, Kosloski KD., et al.: Predictors of mortality following involuntary interinstitutional relocation, *Journal of Gerontological Nursing*, 33(9), 20-26, 2007.
 - 35) Lee DTF, Woo J, Mackenzie AE : A review of older people's experiences with residential care placement, *Journal of Advanced Nursing*, Jan, 37(1), 19-27, 2002.
 - 36) Lundh U, Sandberg J, Nolan M: 'I don't have any other choice': spouses' experiences of placing a partner in a care home for older people in Sweden, *Journal of Advanced Nursing*, 32(5), 1178-1186, 2000.
 - 37) 前田大作：老人のリロケーション・エフェクト 特別養護老人ホーム入所の場合、*社会老年学*、16、3-9、1982.
 - 38) Marion Johnson, Howard Butcher, Meridean Maas ほか：看護診断・成果・介入－NANDA、NOC、NICのリンケージ、医学書院、第2版第2刷、東京、342-349、2007.
 - 39) McKinney AA, Melby V: Relocation stress in critical care: a review of the literature, *Journal of Clinical Nursing*, 11(2), 149-157, 2002.
 - 40) McLachlan DA: The impact of globalization on internationally mobile families: a grounded theory analysis, *Journal of*

- Theory Construction & Testing, 9(1), 14-20, 2005.
- 41) Meleis AI, Sawyer LM, Im EO., et al.: Experiencing transitions: an emerging middle-range theory, *Advances in Nursing Science*, 23(1), 12-28, 2000.
- 42) Meleis AI: *Transitions Theory: Middle Range and Situation Specific Theories in Nursing Research and Practice*, Springer Publishing Company, p.3, 2010.
- 43) Melrose S: Relocation stress: How staff can help, *Canadian Nursing Home*, 24(1), 16-19, 2013.
- 44) Morgan D, Reed J, Palmer A: Moving from hospital into a care home—the nurse’s role in supporting older people, *Journal of Clinical Nursing*, 6(6), 463-471, 1997.
- 45) Mullen E: Relocation of the elderly: implications for nursing, *Journal of Gerontological Nursing*, 3(4), 13-16, 1977.
- 46) 中里克治、下仲順子、小栗龍郎ほか: 施設間移動における老人の心理的適応、*社会老年学*、27、14-21、1988.
- 47) Nay R: Nursing home residents’ perceptions of relocation, *Journal of Clinical Nursing*, 4(5), 319-325, 1995.
- 48) Newson P: Relocation to a care home, part one: exploring reactions, *Nursing & Residential Care*, 10(7): 321-324, 2008a.
- 49) Newson P: Relocation to a care home, part two: exploring helping strategies, *Nursing & Residential Care*, 10(8): 373-377, 2008b.
- 50) Newson P: At home then away: supporting new residents as they settle in, *Nursing & Residential Care*, 13(1), 32-35, 2011.
- 51) Nolan M, Dellasega C: ‘I really feel I’ve let him down’: supporting family carers during long-term care placement for elders, *Journal of Advanced Nursing*, 31(4), 759-767, 2000.
- 52) Nolan M, Walker G, Nolan J., et al.: Entry to care: positive choice or fait accompli? developing a more proactive nursing response to the needs of older people and their carers, *Journal of Advanced Nursing*, 24(2), 265-274, 1996.
- 53) Oleson M, Shadick KG: Application of Moos and Schaefer’s (1986) model to nursing care of elderly persons relocating to a nursing home, *Journal of Advanced Nursing*, 18, 479-485, 1993.
- 54) Orrell M, Bebbington P: Life events and cognition in dementia, *Aging & Mental Health*, 2(1), 53-59, 1998.
- 55) オックスフォード大学出版局: オックスフォード現代英英辞典 第8版、旺文社、東京、1288、2010.
- 56) Pei-Chun C, Wilmoth J.M: The Effects of Residential Mobility on ADL and IADL Limitations Among the Very Old Living in the Community, *The Journals of Gerontology*, 59.3, S164-172, 2004.
- 57) Reed J, Morgan D: Discharging older people from hospital to care homes: implications for nursing, *Journal of Advanced Nursing*, 29(4), 819-825, 1999.
- 58) Rosowsky E: Suicidal behavior in the nursing home and a postsuicide intervention, *American Journal of Psychotherapy*, 47(1), 127-142, 1993.
- 59) Rossen EK, Knafel KA: Women’s well-being after relocation to independent living communities, *Western Journal of Nursing Research*, 29(2), 183-199, 2007.
- 60) Rossen EK, Knafel KA: Older women’s response to residential relocation: description of transition styles, *Qualitative Health Research*, 13(1), 20-36, 2003.
- 61) Rosswurm MA: Relocation and the elderly, *Journal of Gerontological Nursing*, 9(12), 632-637, 1983.
- 62) Ryan AA, Scullion HF: Nursing home placement: an exploration of the experiences of family carers, *Journal of Advanced Nursing*, 32(5), 1187-1195, 2000.
- 63) 佐伯守: <場所的>ということ—ドゥルーズ / 西田幾太郎を読む、晃洋書房、初版第

- 1刷、京都、136 - 137、1999.
- 64) 斎藤民、吉田亨：高齢者のリロケーションと適応、保健の科学、39(4)、226-230、1997.
- 65) Schumacher K.L, Jones P.S, & Meleis A.I： Helping elderly persons in transition: A framework for research and practice. In E. A. Swanson & T. Tripp-Reimer (Eds.), *Life transitions in the older adult: Issues for nurses and other health professionals*, pp.1-26, 1999.
- 66) 新村出：広辞苑 第六版、岩波書店、第1刷、東京、183、2008.
- 67) Sluzki, Carlos E: Social networks and the elderly: Conceptual and clinical issues, and a family consultation, *Family Process*, 39(3), 271-284, 2000.
- 68) Smith RT, Brank FN: Effects of enforced relocation on life adjustment in a nursing home, *International Journal of Aging & Human Development*, 6(3), 249-259, 1975.
- 69) Stubblefield C; Murray RL: Waiting for lung transplantation: family experiences of relocation, *Pediatric Nursing*, 28(5), 501-504, 2002.
- 70) Thomasma M, Yeaworth RC, McCabe B.W : Moving day: relocation and anxiety in institutionalized elderly, *Journal of Gerontological Nursing*, 16(7), 18-25, 1990.
- 71) Tracy JP, DeYoung S: Moving to an assisted living facility: exploring the transitional experience of elderly individuals, *Journal of Gerontological Nursing*, 30(10), 26-33, 2004.
- 72) Walker LO, Avant KC (著)、中木高夫、川崎修一 (翻訳)：看護における理論構築の方法、医学書院、第1版第1刷、東京、90-91、2008.
- 73) Walker E, McNamara B: Relocating to retirement living: An occupational perspective on successful transitions, *Australian Occupational Therapy Journal*, 60(6), 445-453, 2013.
- 74) Weine S.M, Hoffman Y, Ware N., et al.: Secondary Migration and Relocation Among African Refugee Families in the United States, *Family Process*, 50(1), 27-46, 2011.
- 75) Yeboah C, Bowers B, Rolls C: Culturally and linguistically diverse older adults relocating to residential aged care, *Contemporary Nurse*, 44(1), 50-61, 2013.